

がん化学療法看護認定看護師の活動

リソースナースに登録しているがん化学療法看護認定看護師は、多くが病棟や外来治療室で勤務し、がん化学療法を受ける患者・家族の意思決定支援や個別的なセルフケア支援、安全で安心できる投与管理などを担っています。それぞれの施設では、がん看護関連認定取得者が協働し、共に高め合い、看護の質の向上や人材育成に力を入れています。また、地域での看護の質の向上のための活動に積極的に参加することも重要な役割と考えます。

『看護職員人材派遣研修』を経験して

テーマ	がん患者・家族への看護実践を振り返ろう！	がん看護研修
開催日時	2016年2月4日（木）2時間30分	2017年3月7日（火）1時間30分
場 所	愛媛看護研修センター	医療法人弘友会 加戸病院
参加者	看護師・准看護師 38人(東予 6・中予 25・南予 7)	全職員 60人
内 容	「症状緩和の実際」「患者・家族への支援」 「事例からがん看護を考える」	「がん患者の精神的ケア 疼痛コントロール」 「外来通院患者への対応と注意点」
講 師	愛媛県立中央病院 がん看護専門看護師 がん化学療法看護認定看護師	武田 千津 山下 広恵

参加者から「事例は理解しやすかった」「家族看護の重要性が分かった」「最新の治療やケアが今後に活かせる」「がん看護の奥深さが分かり感動した」との声でした。
研修をとおしてそれぞれの地域で看護・介護職の方が、患者・家族に寄り添い支えていることを実感しました。

リソースナース人材活用システム使用者からの声

研修参加者の声

- ・ 自施設研修は参加しやすかった。
- ・ 期待どおりの内容だった。
- ・ 協会の支援があり開催しやすかった。
- ・ 人材派遣研修の利用は費用面で助かった。

講師を経験したリソースナースの声

- ・ 地域のスタッフとの交流が良かった。
- ・ 地域貢献に少しでも役立てると思う。
- ・ この経験は自分の成長につながると思う。
- ・ 看護師だけでなく多職種からの要望も多いと思った。

がん化学療法看護認定看護師をご活用ください。

令和3年現在、リソースナース登録は東予7名・中予10名・南予2名の計19名です。

がん化学療法は、自宅で療養しながら点滴や内服での通院治療を行う事もあります。治療期からのかかりつけ医との併診や、訪問看護・介護の利用も増えてきました。患者・家族が望む治療や療養を支援するために、関わるスタッフ間で学びを深めていきたいと考えています。

最近では抗がん薬の曝露対策も積極的に行われており、多職種で学習し、患者・家族はもとより医療者にもより安全で安心な実践となるように活動しています。



抗がん薬曝露対策研修の場面